

数字でわかる日本の PrEP

みんなPrEPについて どう思っている のでしょうか？

世界で広がる新・HIV予防法「PrEP（プレップ）」を知っていますか？
日本でも増えつつあるPrEPの実態を、国内のゲイ・バイ男性6,000人以上が回答したアンケートから紹介していきます。

PrEPに関するアンケート調査 報告書より
実施期間：2018年10月31日～11月30日
分析対象者数：MSM 6,247人
※質問により分母は異なる



「PrEP」とは？

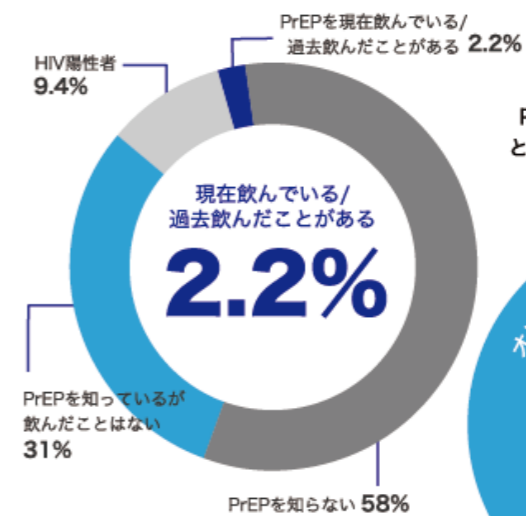
「暴露前予防（Pre-Exposure Prophylaxis）」のこと。これは、HIV陰性の方がセックスの前から薬を飲むことによって、自身がHIVに感染するのを予防する方法。決められた通りに薬を飲めば、HIV感染リスクを99%減少させることができます。



PrEPを始める前に必ずHIV検査を受けましょう

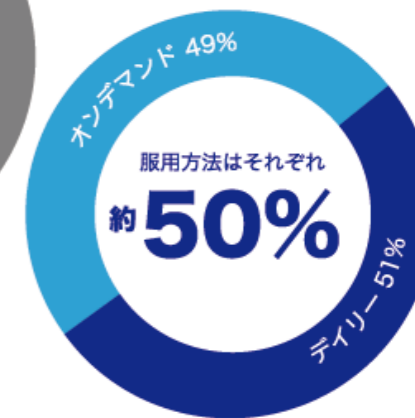
PrEPの利用実態とは？

PrEPの認知と使用経験 n=5,222

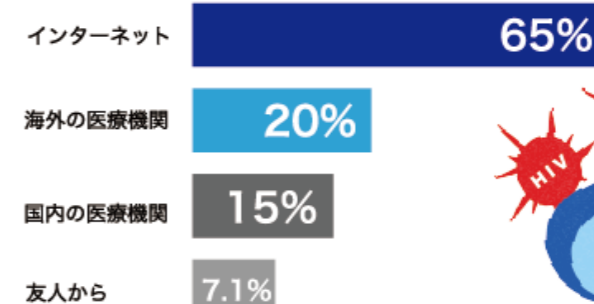


PrEPの服用方法 n=113

PrEPには、毎日服用する「デイリー」と行為の前後だけ飲む「オンデマンド」の2種類があります。

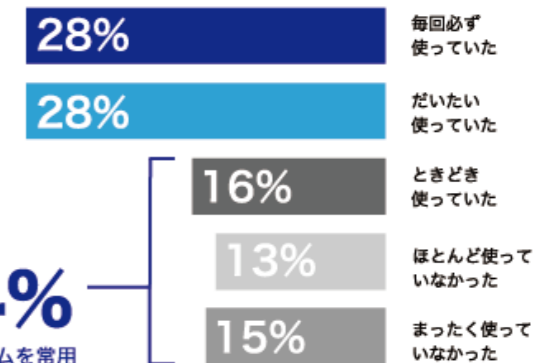


PrEP使用者の入手方法 n=113



過去6ヶ月間のアナルセックス時のコンドーム使用頻度は？ n=4,419

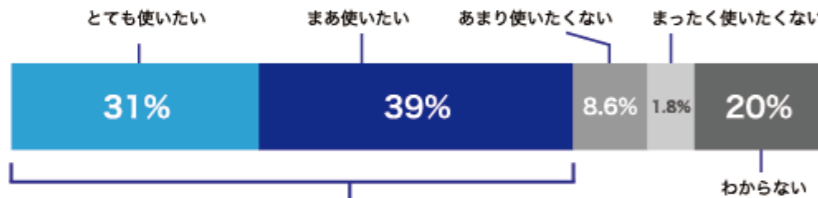
毎年1300～1400人前後が新たにHIV/エイズに感染していますが、コンドームの使用率は全体的に低い状況です。



44%
はコンドームを常用していなかった

PrEPを使ってみたい？

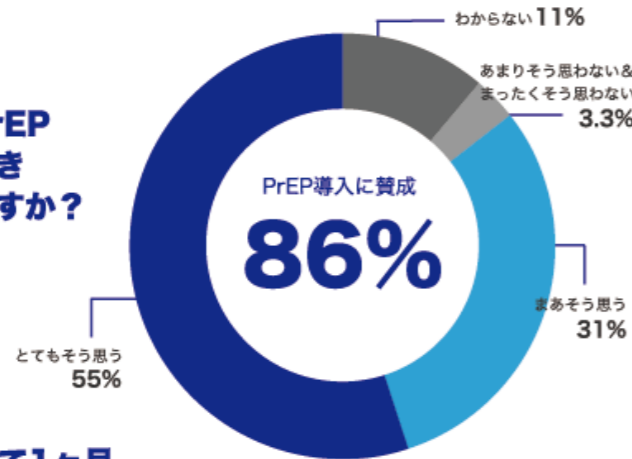
PrEPの薬が日本で入手可能になったら使いたいですか？



日本で入手可能になったら約 **70%** が使いたいと回答

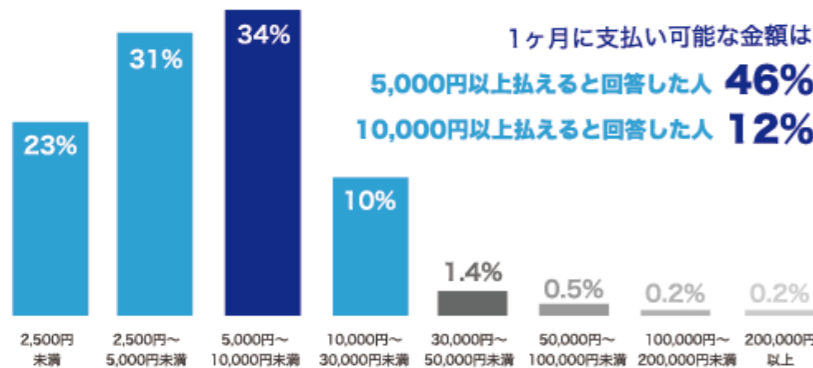
日本でもPrEPを導入すべきだと思いますか？

n=4,538
*HIV陽性者を除く

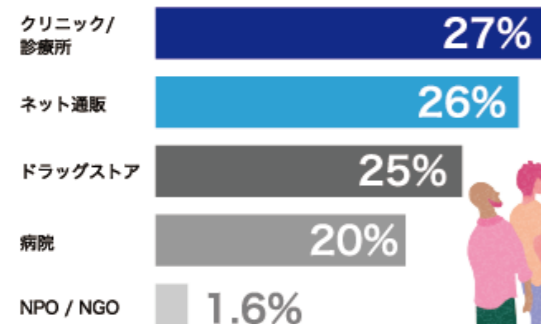


PrEPに対して1ヶ月最大いくらまでなら払いますか？

n=4,503
*HIV陽性者を除く

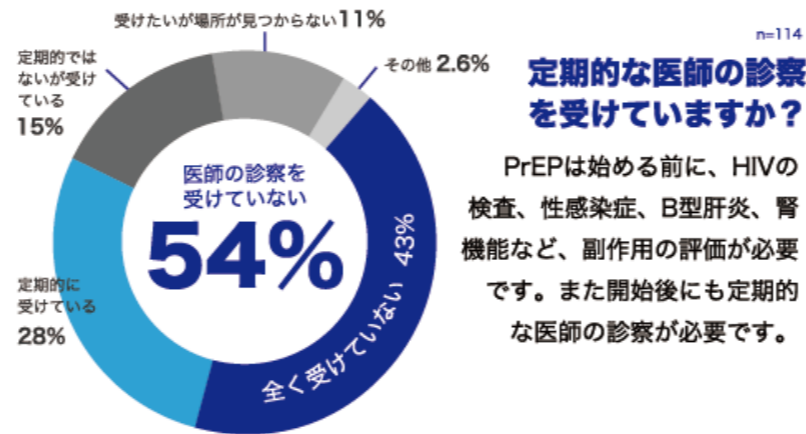


PrEPの入手場所として最も好ましいところは？



n=4,485
*複数回答可

PrEPには課題もあり



定期的な医師の診察を受けていますか？

PrEPは始める前に、HIVの検査、性感染症、B型肝炎、腎機能など、副作用の評価が必要です。また開始後も定期的な医師の診察が必要です。

70% は医療者にセクシュアリティと性行動について気軽に話せますか？

医療者にセクシュアリティや性行動を話しにくいと感じている



PrEPに対してアンケートで寄せられた声

- 海外では浸透していると聞くので、日本でも積極的に導入してほしい (20代 秋田)
- PrEPの購入を内密にしてほしい (40代 沖縄)
- PrEPは他の感染症の予防はできないと注意喚起が必要 (40代 東京)
- HIVの予防法が増えるのはとてもいい事だ (20代 愛知)
- 国内のPrEPはすごく高い印象。ジェネリック薬の輸入方法を知りたい (30代 千葉)
- 気軽に相談できる雰囲気作りをしてほしい (30代 大阪)
- 副作用について気になる (40代 兵庫)
- PrEP自体を知らない医者や看護師が多い。基礎的な知識をもってほしい (20代 東京)
- なるべく安い値段にしてほしいです (20代 愛知)

PrEPを服用した場合、コンドーム使用にどう影響しますか？

n=4,485
*HIV陽性者を除く



PrEP服用で約 **44%** が今よりコンドームを使わなくなると回答

PrEP調査 まとめ

PrEPを使っている人 過去に使っていた人
 PrEPの服用方法 デイリー/オンデマンドで半々

2.2% **50%**

日本で入手可能になったら使いたい人
 5千円以上払えると回答した人

70% **46%**

PrEPは日本では正式に承認されていないですが、すでに使っている人、または今後の使用を考えている人はかなり多いことが分かりました。ただし一部課題もあります。

PrEPを服用していて定期検診を受けていない人
 医療者にセクシュアリティについて話しにくい人
 PrEP服用でコンドーム着用しないと答えた人

54% **70%** **44%**

PrEPを服用しても、全く定期的な診断を受けていない人は約4割にのぼります。それには、医療者へのセクシュアリティや性行動の話しにくさ、PrEPの入手価格の高さが影響しているかもしれません。

また、PrEPの服用により「今よりコンドームを使わなくなる」と答えた人は約4割も。PrEPはHIVを防ぐことはできるものの、他の性感染症は防ぐことはできないので注意が必要です。



「PrEP in JAPAN」ではこれからもPrEPについて情報を発信していきます。ぜひ、研究班のwebをご覧ください。

<https://prep.ptokyo.org/>

右下のQRコードからもアクセスできます

平成29～令和元年度厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）「HIV感染症の曝露前及び曝露後の予防投薬の提供体制に関する研究」
 研究代表者：水島 大輔（国立研究開発法人国立国際医療研究センター）
 分担研究者：生島 嗣（ふれいす東京）
 研究協力者：山口正純（武南病院） 三輪岳史（ふれいす東京） 大槻知子（ふれいす東京）

デザイン&イラストレーション: Makito Uechi

